

3. 南空知地域の概況

3-1 地理的及び自然的特性の整理

(1) 南空知地域の位置・面積

4市5町からなる本地域は、北海道の中央南西部に位置しており、総面積は約2,562 km²で、空知管内の北空知地域及び中空知地域と比較して最も大きい地域です。森林や清流に恵まれた夕張山地の山岳、石狩平野の肥沃な農業地帯を有しているほか、桂沢湖などの自然景観、炭鉱遺産などの観光資源を有しています。

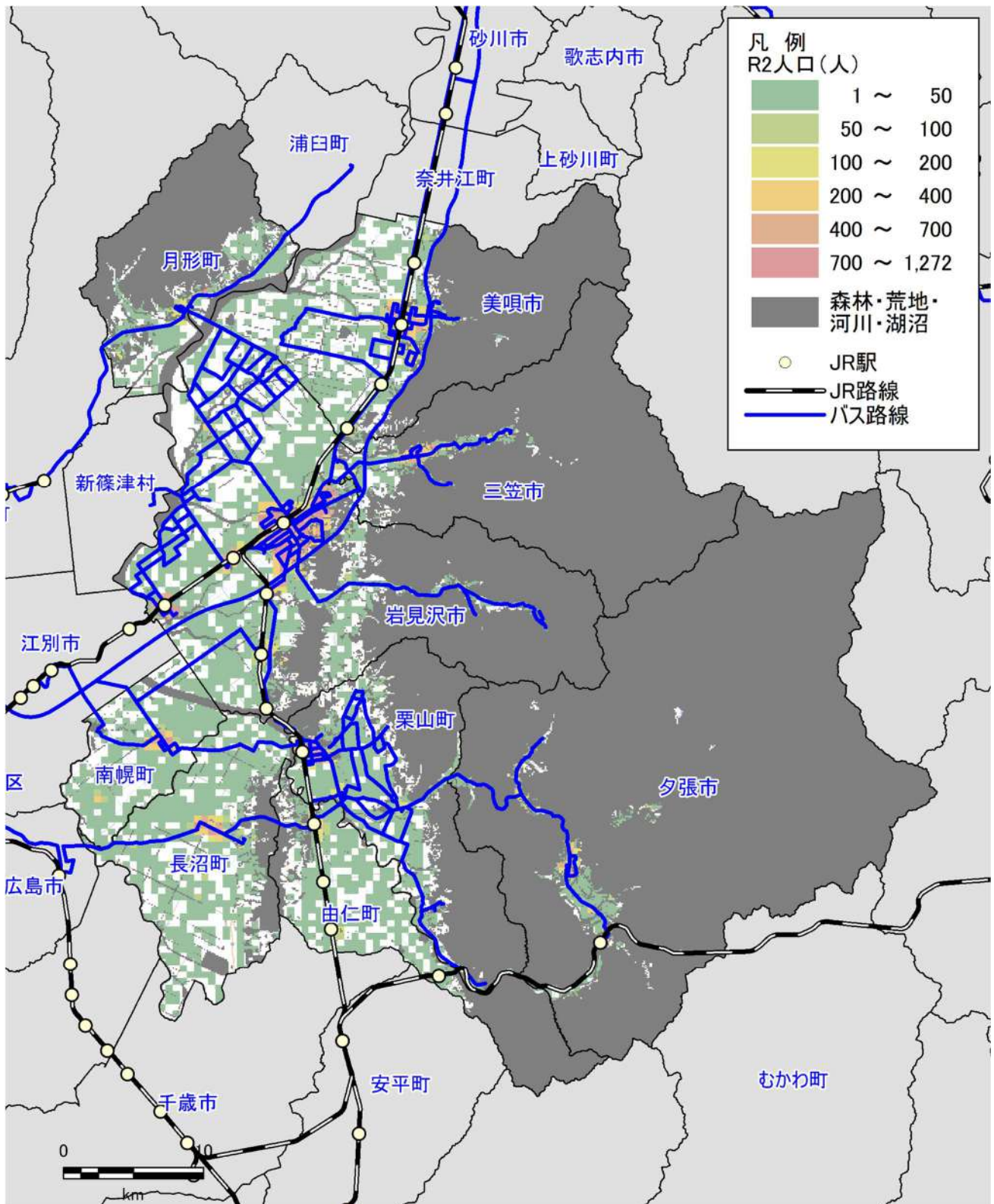


出典：国土地理院「令和5年全国都道府県市区町村別面積調7月1日時点
(<https://www.gsi.go.jp/>)」をもとに作成

図 3-1 南空知地域の各市町の位置・面積

(2) 可住地

本地域の可住地は、鉄道や幹線道路の沿線を中心に中山間地域など広範囲に及んでいます。



出典：総務省統計局「令和2年国勢調査」(<https://www.e-stat.go.jp/>) をもとに作成

図 3-2 本地域の可住地域

3-2 社会状況の整理

(1) 人口動態・人口推移

本地域においては、いずれの市町でも人口減少及び高齢化の傾向にあり、平成2（1990）年と令和2（2020）年の人口を比較すると、いずれの市町でも3割以上の人口減少がみられています。また、高齢人口が平成2（1990）年の2倍以上となっている市町もあります。

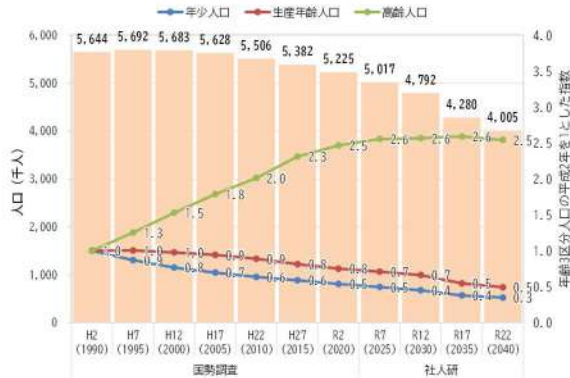


図 3-3 北海道における人口推移



図 3-4 本地域全体の人口推移



図 3-5 夕張市における人口推移



図 3-6 岩見沢市における人口推移



図 3-7 美幌市における人口推移



図 3-8 三笠市における人口推移



図 3-9 南幌町における人口推移

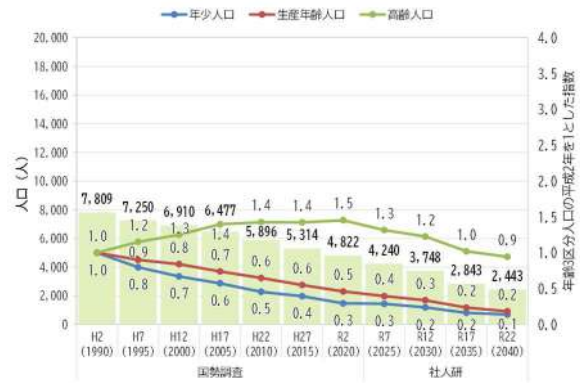


図 3-10 由仁町における人口推移



図 3-11 長沼町における人口推移



図 3-12 栗山町における人口推移



図 3-13 月形町における人口推移

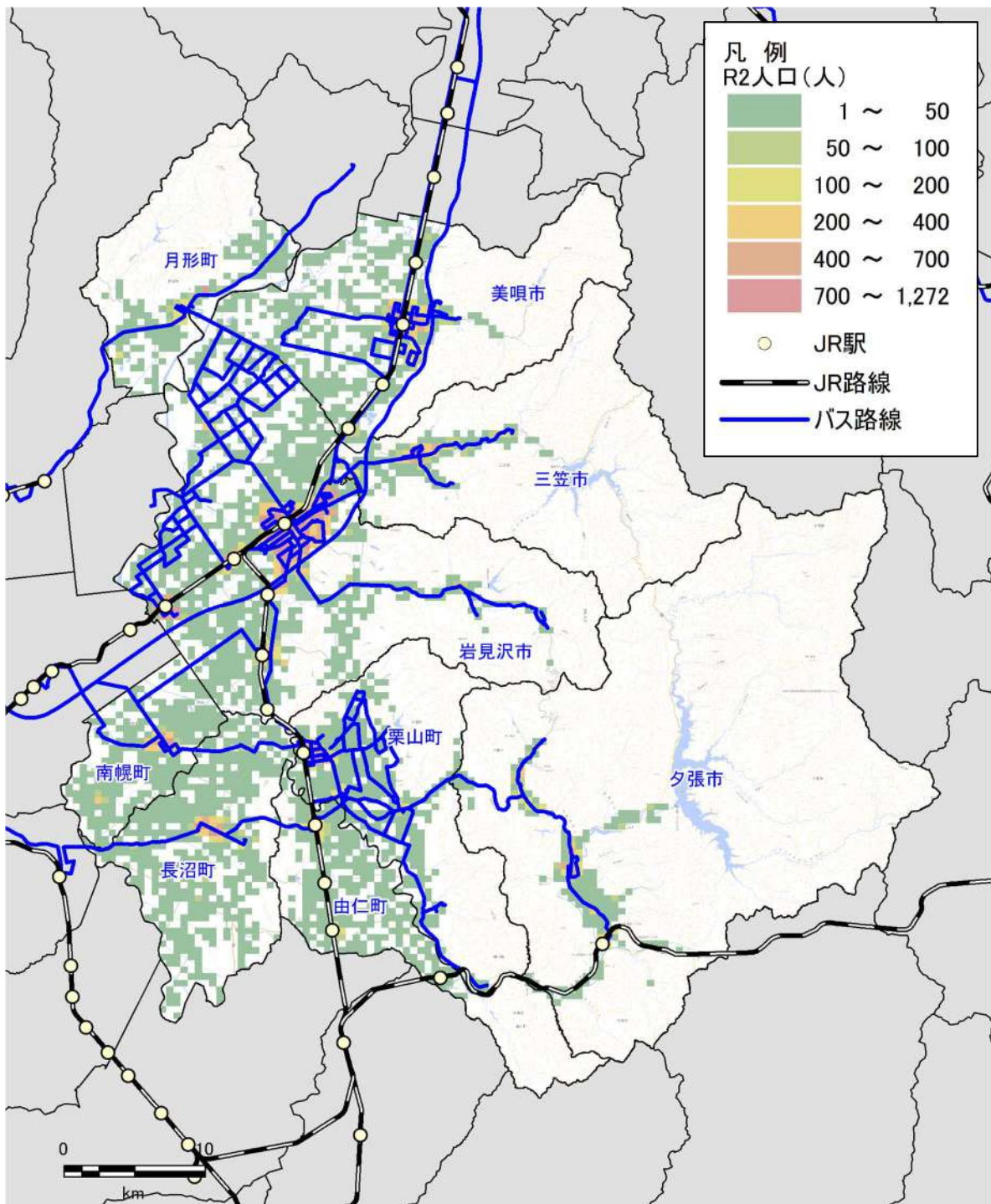
出典：総務省統計局「平成2年～令和22年国勢調査」(<https://www.e-stat.go.jp/>)、
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」(<https://www.ipss.go.jp/>)
 をもとに作成

(2) 居住者人口及び高齢人口の分布

本地域の人口は、各市町の市街地に集積しており、郊外部・農村部は住民が点在する散居形態となっています。また、高齢化は市街地のみならず郊外部・農村部でも進行しています。

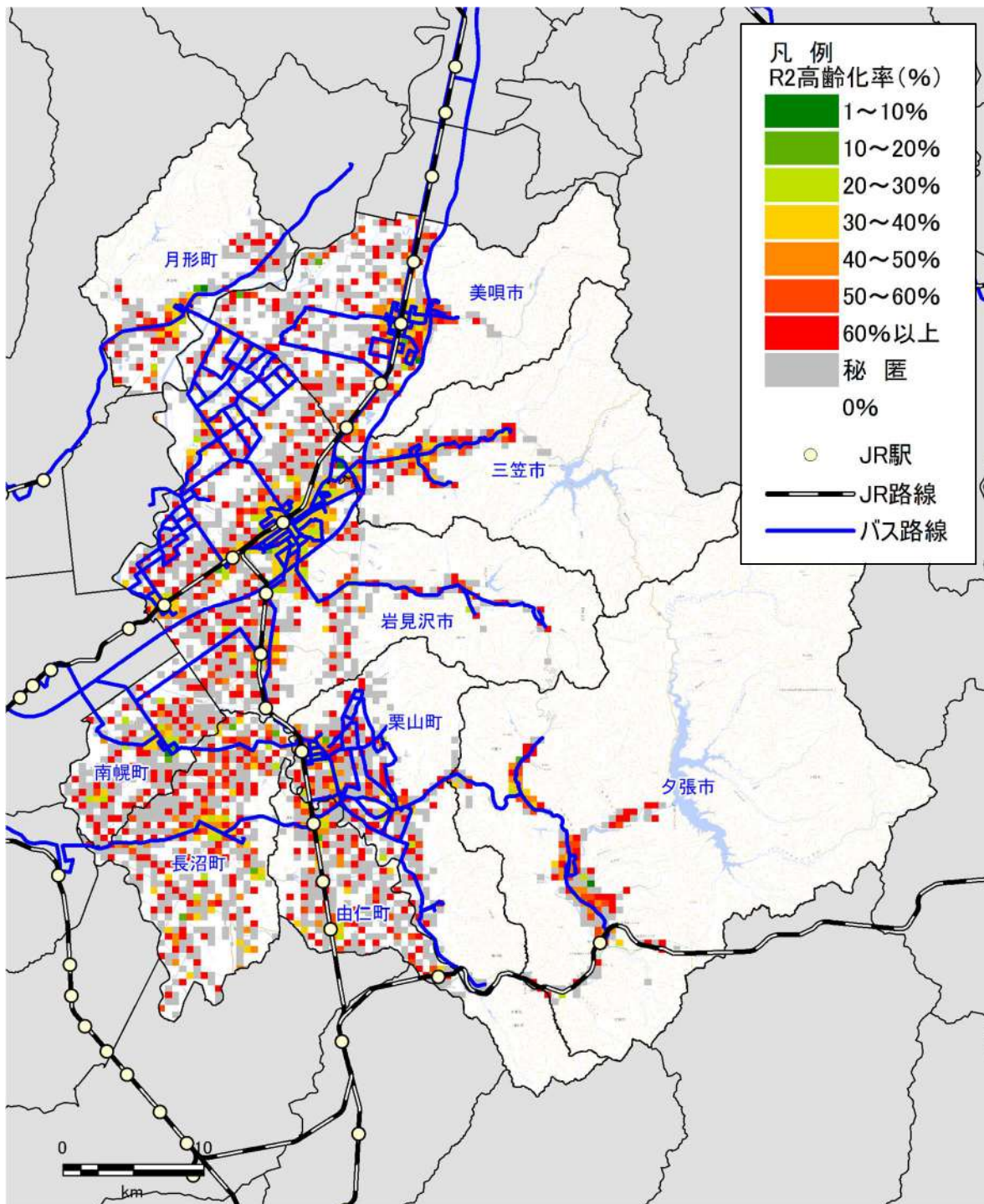
このような状況を踏まえると、鉄道の駅や路線バスの停留所まで移動することが困難な住民が増えていくことが予想されます。

これまでは、徒歩や自家用車等で鉄道の駅や路線バスの停留所に行くことを主とした交通体系となってきましたが、生活圏交通と広域交通を円滑に接続するなど、自家用車に依存しなくても地域で生活が続けられる交通体系を確保していく必要があります。



出典：総務省統計局「令和2年国勢調査」(<https://www.e-stat.go.jp/>) をもとに作成

図 3-14 人口分布状況



出典：総務省統計局「令和2年国勢調査」(<https://www.e-stat.go.jp/>) をもとに作成
 図 3-15 高齢者分布状況